

世帯数 25,240世帯
男 31,152人
女 32,819人
合計 63,971人



発行/京田辺市
〒610-0393京都府京田辺市田辺80
☎(0774)63-1122 FAX(0774)63-4781
HP http://www.kyotanabe.jp/



石井市長が初登庁 未来のふるさと京田辺の創造

先の京田辺市長選挙で無投票再選した石井明三市長が5月2日、市役所に初登庁。市民や職員を前に「未来のふるさと京田辺の創造」に向け、自ら先頭に立って全力で立ち向かっていきます」と2期目の市政運営をスタートするに当たり、決意を述べました。

石井明三市長は、午前8時45分に市役所庁舎前に到着。拍手で出迎える市民・職員ら約300人の前で、市民・職員組合の代表から花束が贈られ、笑顔で受け取りました(Ⅱ写真)。

2期目スタートに当たり「みなさんを前に市長としての責任の重さをひしひしと感じ、あらためて身の引き締まる思いです」と冒頭で話し、「国を挙げて東日本大震災からの復興に取り組まなければならないことから、本市も大きく影響を受けることを覚悟しておかねばならない。市の財政が厳しい中、本市も被災された方々にできる限り手を差し伸べていきたい」と

と被災地支援に市民の理解と協力を求めました。

また、「未来のふるさと京田辺の創造」に向け、京田辺市が一層輝きを放ち、四季の移ろいを感じながら、豊かに暮らすことのできるまちづくりを目指し、自ら先頭に立って全力で立ち向かっていきます」と決意を述べました。

その後、2期目の初公務となる部長級の職員を集めた経営会議で、「これまでに以上に現地現場主義に徹し、市民のみなさんに満足していただける市政の推進に向け、より一層、私と心を合わせ頑張る」と訓辞しました。

第2次 男女共同参画計画を策定 家庭・仕事を大切にできる環境へ

市は、平成22年9月に制定した「京田辺市男女共同参画推進条例」の基本理念に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた具体的な取り組みを推進するため、「第2次京田辺市男女共同参画計画」を策定しました。計画の内容は、市民のみなさんから意見・提案をいただき、男女共同参画審議会の審議・答申を経て決定しました。

計画書は、市民参画課・女性交流支援ルーム・市ホームページでご覧ください。

【計画の期間】
平成23年度～同32年度

【内容】
3つの基本目標を掲げ、それぞれの目標実現に向けた具体的な施策を展開しています。

基本目標1 男女共同参画社会の基盤をつくる
基本目標2 家庭も仕事も大切にできる環境をつくる

【問合せ先】
市民参画課 ☎64-1314



東日本大震災被災者への支援

被災者相談・登録窓口

市は、東日本大震災で市内に避難している被災者へ支援情報を提供するため、「被災者相談・登録窓口」を設けています。

登録場所=市役所4階安心まちづくり室
受付時間=午前8時30分～午後5時15分(正午～午後1時、土・日曜日と祝日を除く)
問合せ先=安心まちづくり室 ☎64-1307

義援金を受け付け

市役所などに設置している義援金箱に寄せられた義援金は、5月9日現在で1,219万2,374円となりました。市は、引き続き義援金の受け付けを行っています。

水道職員を派遣

市は、4月28日から5月16日まで、新たに水道部職員延べ8人を東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市・大船渡市に、第2次給水活動支援隊として派遣しています。

市長・市議会議員に 当選証書を付与



菊岡委員長から当選証書を受け取る当選人

京田辺市選挙管理委員会では、任期満了に伴い行った京田辺市長選挙と市議会議員一般選挙の当選証書付与式を、4月29日、コミュニティホールで行いました。

石井市長が無投票再選。24日に執行された選挙では、新しく21人の市議会議員が決まりました。

式典では、菊岡喜代治委員長が一人ひとりに当選証書を手渡した後、「市民の幅広い意見や要望に耳を傾け、京田辺市のまちづくりに尽力をお願いする」と式辞を述べました。